

令和7年度

区政モニターアンケート(第4回)

結 果

調査内容	「千代田区の新たなコミュニティづくり」について
調査期間	令和7年12月5日から12月19日
調査対象	区政モニター(100名)
回 答 数	87名(回収率87%)

令和8年1月23日
千代田区政策経営部広報広聴課

区政モニターの内訳(令和7年12月現在)

()内は今回アンケートの回答者数

年齢別の内訳

(年齢基準日:令和7年4月1日)

10歳代	0名 (0名)
20歳代	10名 (9名)
30歳代	31名 (27名)
40歳代	36名 (30名)
50歳代	15名 (14名)
60歳代	7名 (6名)
70歳代	1名 (1名)
80歳代	0名 (0名)
合計	100名 (87名)

在住・在勤・在学の内訳

在住	90名 (79名)
在勤	10名 (8名)
在学	0名 (0名)
合計	100名 (0名)

集計結果を読む際の注意事項

- (1). 回答比率は、小数点第一位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。また、複数回答(選択肢からいくつでも選ぶ形式)の質問では、回答比率が 100%を超える場合があります。
- (2). 各設問でお寄せいただきました意見などの記述は、ほぼ原文のまま掲載させていただいているため、体裁は統一していません。
- (3). 各設問でお寄せいただきました意見などの記述について、次のいずれかに該当する場合については、一部伏字や一部削除している場合があります。
 - ・個人情報または、個人を特定し得る情報が記載されている。
 - ・誹謗・中傷にあたる情報が記載されている。
 - ・公序良俗に反する表現(差別的、卑猥な表現 等)が記載されている。また、個人または法人に関する不確実な情報・意見・コメントが含まれる場合には、誤解や不利益を生じさせることのないよう、当該記述について一部伏字や一部削除している場合があります。
- (4). 各設問の自由記載欄にいただいた回答のうち、同一趣旨の回答はまとめております。また、予め設定されている選択肢と同一趣旨の回答の場合は、選択肢による回答とみなしてカウントしています。

【目次】

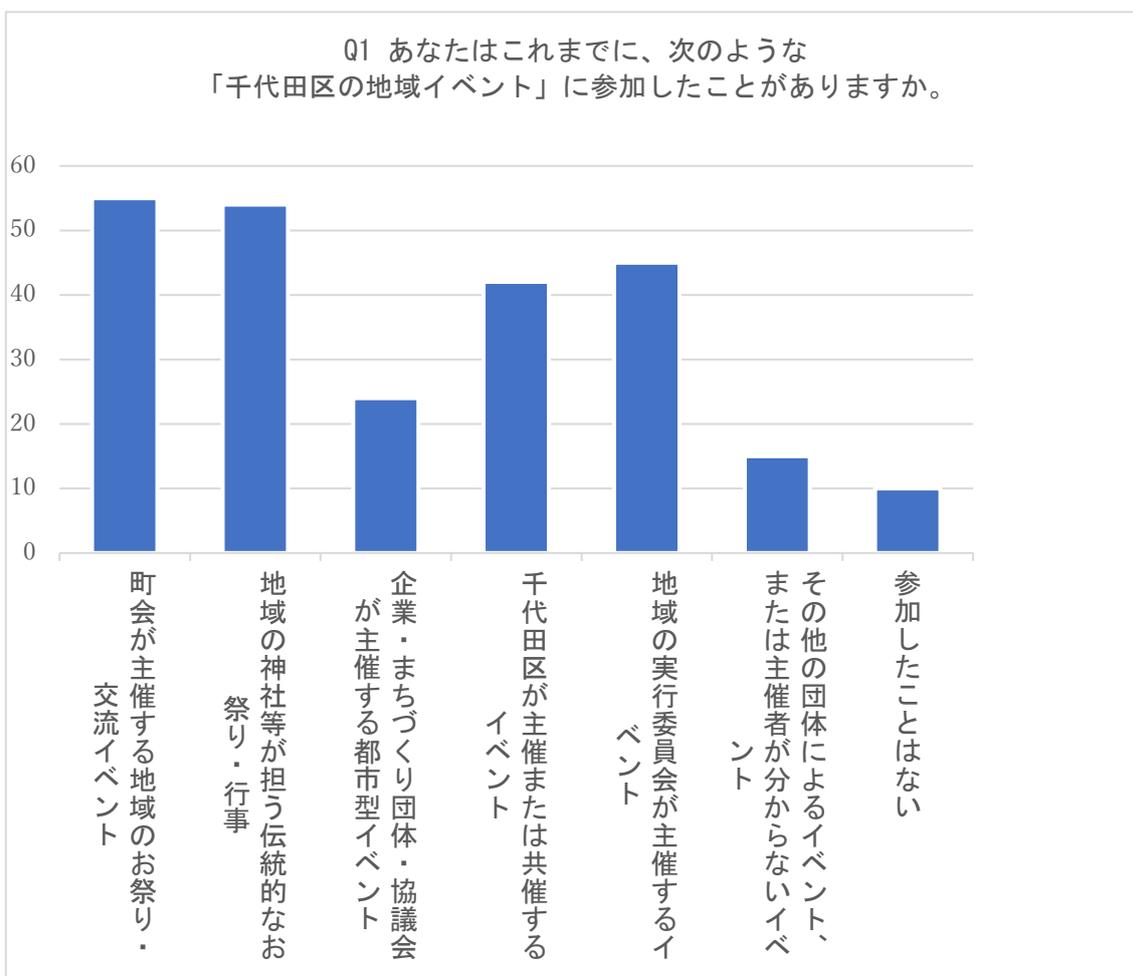
※下記目次では、実際の設問を簡略表記としています。

Q1 これまでに、次のような「千代田区の地域イベント」に参加したことがありますか。.....	5
Q1-2 これまでに、「千代田区の地域イベント」にどのような形で参加されたことがありますか。....	6
Q1-3 千代田区の地域イベント」に参加する際の、主な目的を教えてください。.....	7
Q1-4 「千代田区の地域イベント」全体として、参加してどのように感じましたか。.....	8
Q2 祭礼文化が地域からなくなった場合、どのような影響があると思いますか。.....	9
Q3 祭礼文化への支援について、行政が関わることについてどう思いますか。.....	10
Q4 祭礼文化を未来に残していくために、どのような行政支援が必要だと思いますか。.....	11
Q5 若年・ミドル世代が、区に愛着を感じ、地域に関わるきっかけを得るためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。.....	13
Q6 転出・転勤した後も千代田区とつながり続けられるようなコミュニティをつくるには、どのような取組みが効果的だと思いますか。.....	15
Q7 地域の活性化やコミュニティ形成等を目的として民間団体が主催する文化イベントについて、参加費の一部補助や「区民特別席」などの優遇がある場合、参加してみたいと思いますか。....	17
Q8 近年、ライフスタイルの多様化により、平日は都心、休日は地方で生活するといった「二拠点居住」が注目されています。二拠点居住に関心をお持ちですか。.....	18
Q9 新たなライフスタイルの提供や、地域課題の解決に役立つものとするためには、どのような支援があると良いと思いますか。.....	19
Q10 地域のつながりや、千代田区に住み、働き、学び、集う人々の交流がどの程度深まったのかを把握するためには、どのような指標が重要だと思いますか。.....	21
Q11 千代田区のコミュニティづくりの今後の方向性について、あなたが考えるアイデアを自由にご記入ください。また、これまでの回答内容について補足したい点があれば、あわせてご記入ください。.....	22

Q1 あなたはこれまでに、次のような「千代田区の地域イベント」に参加したことがありますか。(※参加したことがない場合は、“参加したことはない”だけを選択してください。)

<<複数回答可>>

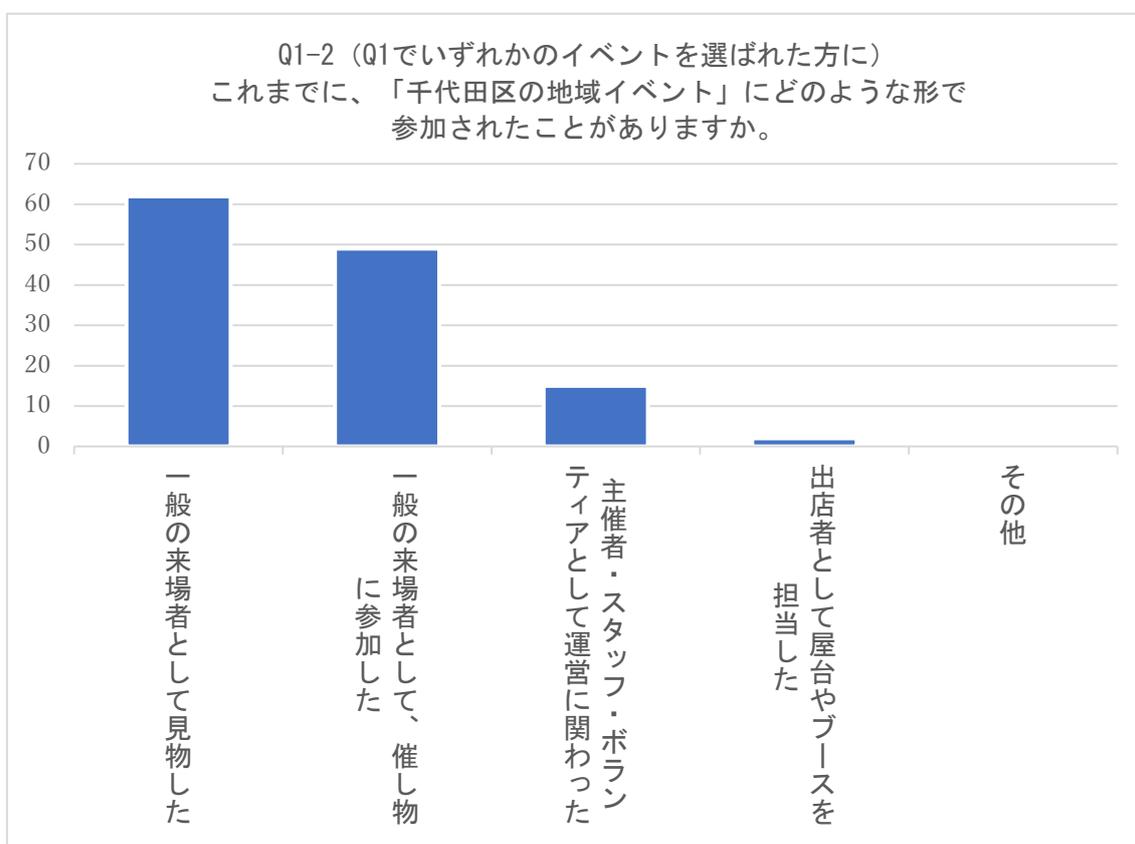
項目	回答数
町会が主催する地域のお祭り・交流イベント	55
地域の神社等が担う伝統的なお祭り・行事	54
企業・まちづくり団体・協議会が主催する都市型イベント	24
千代田区が主催または共催するイベント	42
地域の実行委員会が主催するイベント	45
その他の団体によるイベント、または主催者が分からないイベント	15
参加したことはない	10



Q1-2 (Q1 でいずれかのイベントを選ばれた方に)これまでに、「千代田区の地域イベント」にどのような形で参加されたことがありますか。

<<複数回答可>>

項目	回答数
一般の来場者として見物した	62
一般の来場者として、催し物に参加した	49
主催者・スタッフ・ボランティアとして運営に関わった	15
出店者として屋台やブースを担当した	2
その他	1



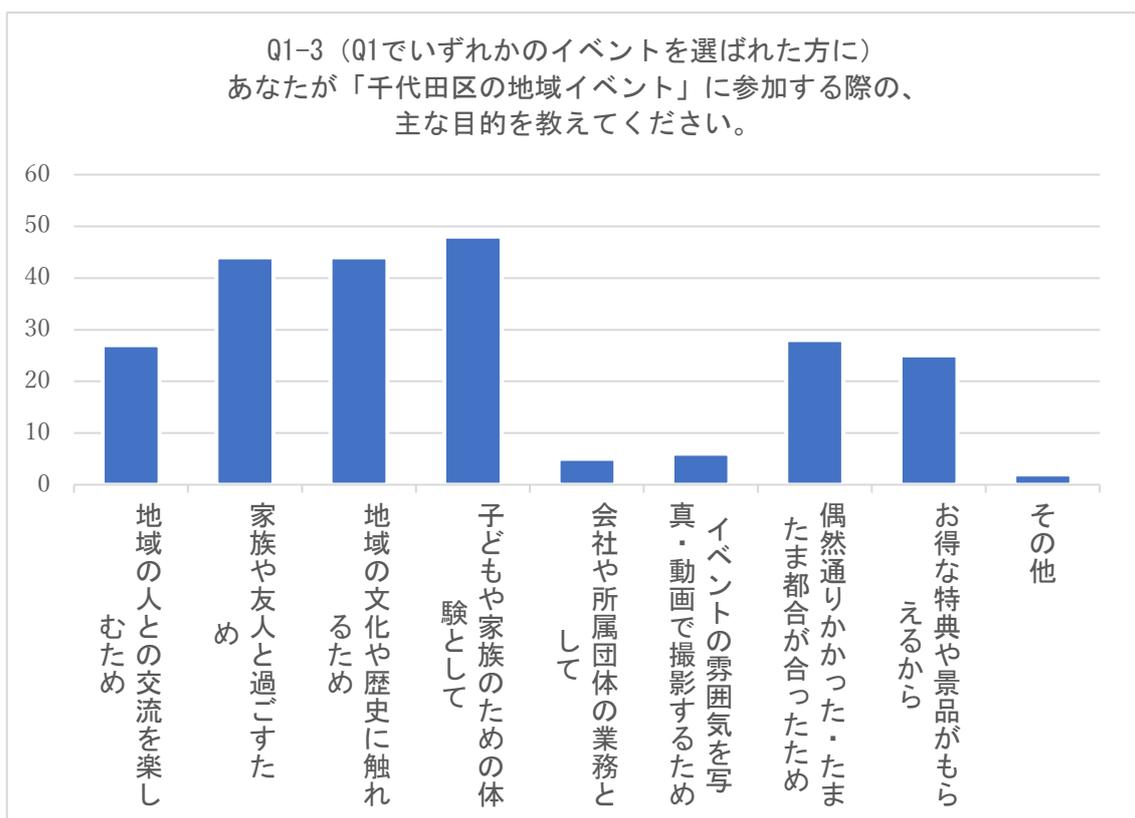
【その他の回答】

- 区民体育祭に地区代表選手として参加した。

Q1-3 (Q1 でいずれかのイベントを選ばれた方に)あなたが「千代田区の地域イベント」に参加する際の、主な目的を教えてください。

<<複数回答可>>

項目	回答数
地域の人との交流を楽しむため	27
家族や友人と過ごすため	44
地域の文化や歴史に触れるため	44
子どもや家族のための体験として	48
会社や所属団体の業務として	5
イベントの雰囲気写真を写真・動画で撮影するため	6
偶然通りかかった・たまたま都合が合ったため	28
お得な特典や景品がもらえるから	25
その他	2



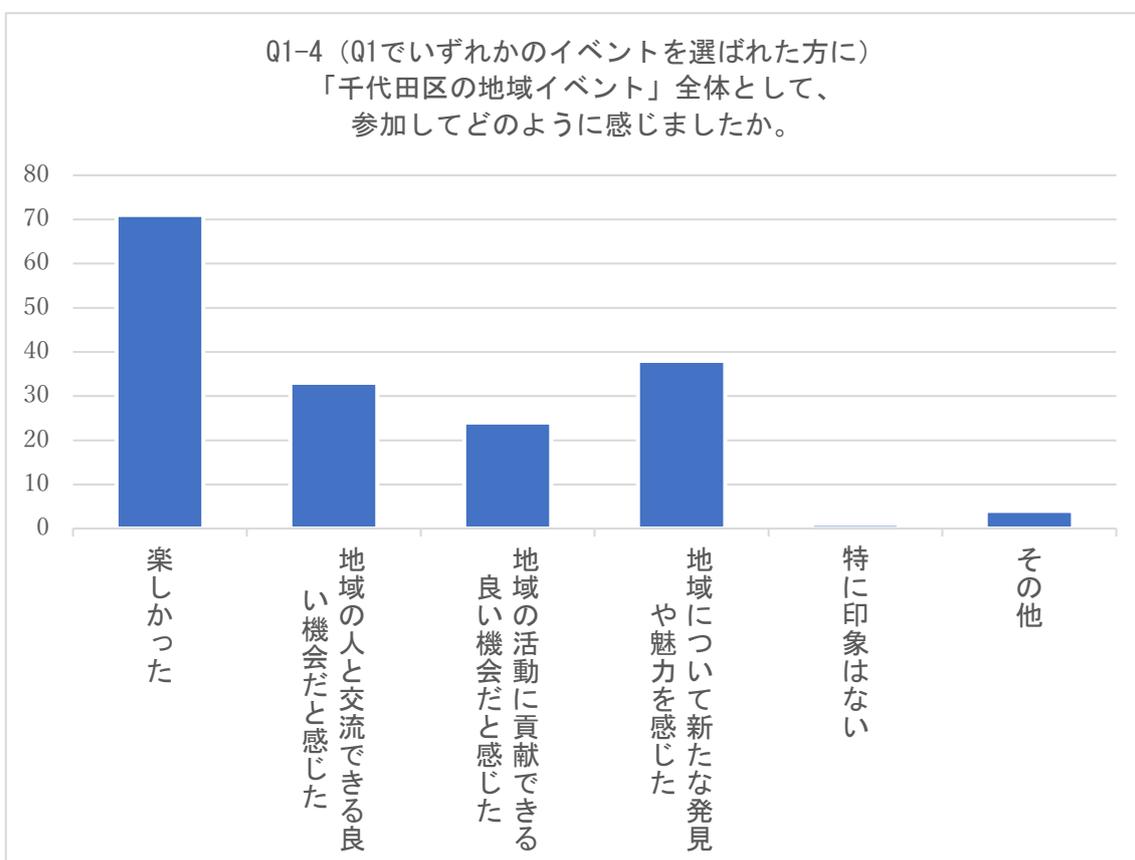
【その他の回答】

- そのイベントを楽しみにしており、ぶらぶらと散歩しながら見るだけですが自分自身の行事のように感じています。
- 映画鑑賞のため

Q1-4 (Q1 でいずれかのイベントを選ばれた方に)「千代田区の地域イベント」全体として、参加してどのように感じましたか。

<<複数回答可>>

項目	回答数
楽しかった	71
地域の人と交流できる良い機会だと感じた	33
地域の活動に貢献できる良い機会だと感じた	24
地域について新たな発見や魅力を感じた	38
特に印象はない	1
その他	4



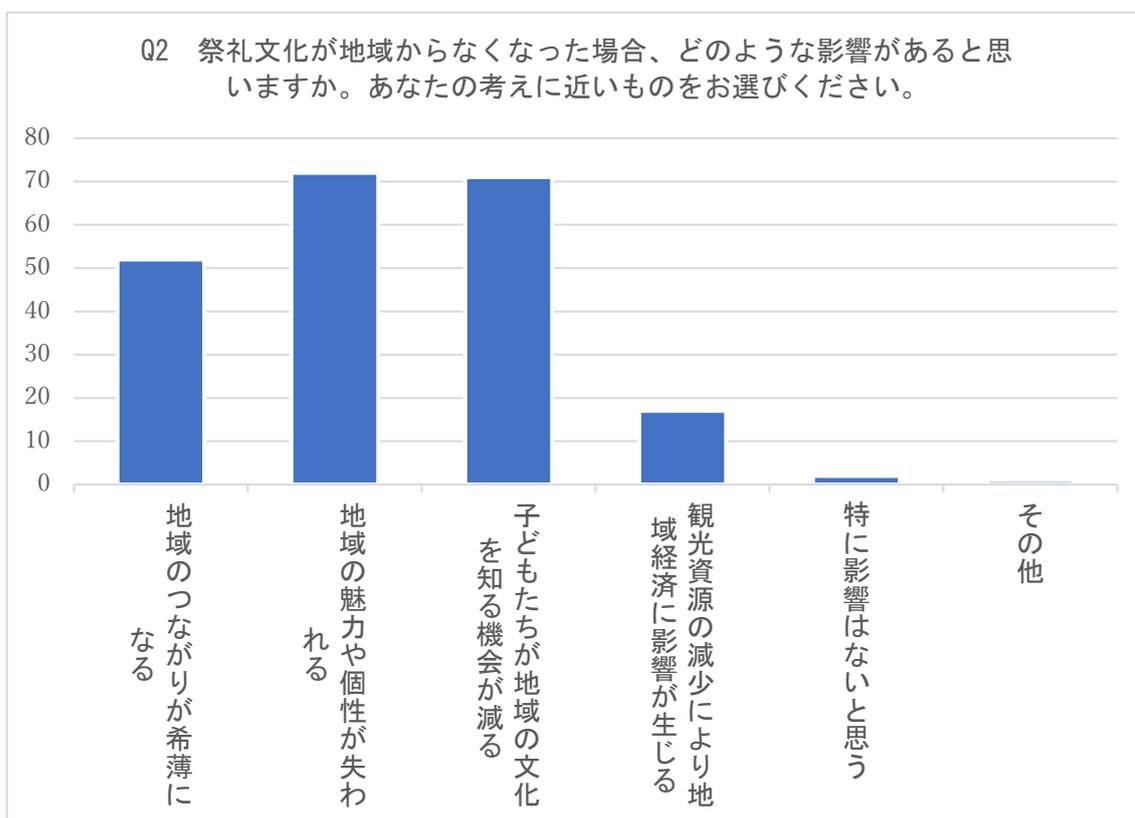
【その他の回答】

- 特に、子供の地域社会との交流のきっかけとなった。
- 一部の知り合いやコミュニティの人が優先され、一般の参加者は冷遇される経験があり、今後の参加には積極的になれない。
- 大変な事も沢山あった
- 負担が大きかった

Q2 祭礼文化が地域からなくなった場合、どのような影響があると思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。（※影響はないと思う場合は、“特に影響はないと思う”だけを選択してください。）

<<複数回答可>>

項目	回答数
地域のつながりが希薄になる	52
地域の魅力や個性が失われる	72
子どもたちが地域の文化を知る機会が減る	71
観光資源の減少により地域経済に影響が生じる	17
特に影響はないと思う	2
その他	1



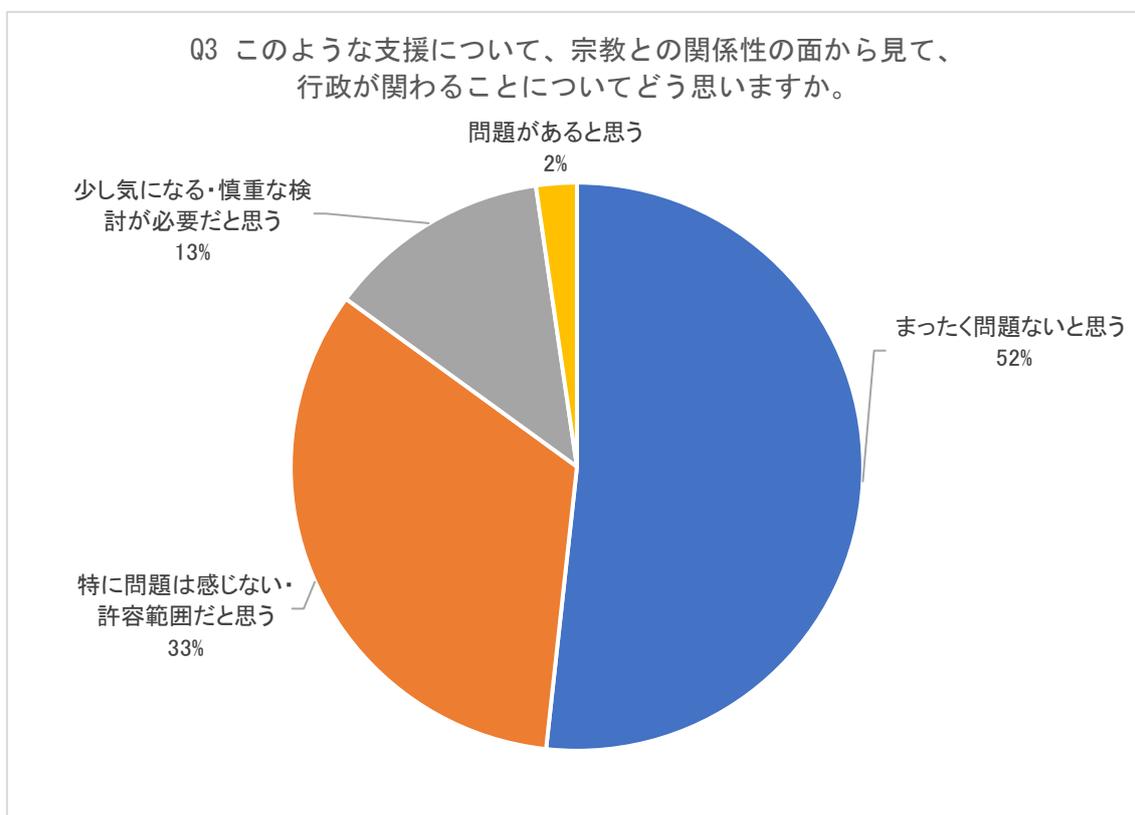
【その他の回答】

- 規模や内容次第だと思う。たとえば大規模な祭礼であれば、毎年そのタイミングで帰省や親戚を訪ねる等あるかもしれないが、一方で義務感だけで続いているような祭礼であれば特に影響はないと思う。いまの町内の祭礼(神田祭)では子供の積極的な参加が見られるので、なくなった場合は子どもに影響があると思う。

Q3. 各地の自治体では、地域のつながりを育み持続的に発展させるため、寺社等の祭礼文化に関わる地域団体に対し、活動の後押しや環境整備を行っています。
千代田区でも同様の観点から、地域文化として継承される祭礼（神田祭、山王祭など）に関わる地域団体への活動支援を検討しています。（例：町会のお神輿の修繕、半纏（はんてん）の購入、祭礼文化の次世代への継承に向けた啓発活動など）

Q3 このような支援について、宗教との関係性の面から見て、行政が関わることについてどう思いますか。

項目	回答数	割合
まったく問題ないと思う (地域文化やコミュニティ形成への支援であり、宗教的な目的や宗教を特別に支援しているとは思わない)	45	52%
特に問題は感じない・許容範囲だと思う (宗教的要素はあるが、地域文化・コミュニティ形成支援としての意義が強く、宗教を特別に後押ししているとは思わない)	29	33%
少し気になる・慎重な検討が必要だと思う (宗教を特別に支援する内容にならないよう、慎重に制度設計すべき)	11	13%
問題があると思う (宗教を特別に支援していると感じる)	2	2%



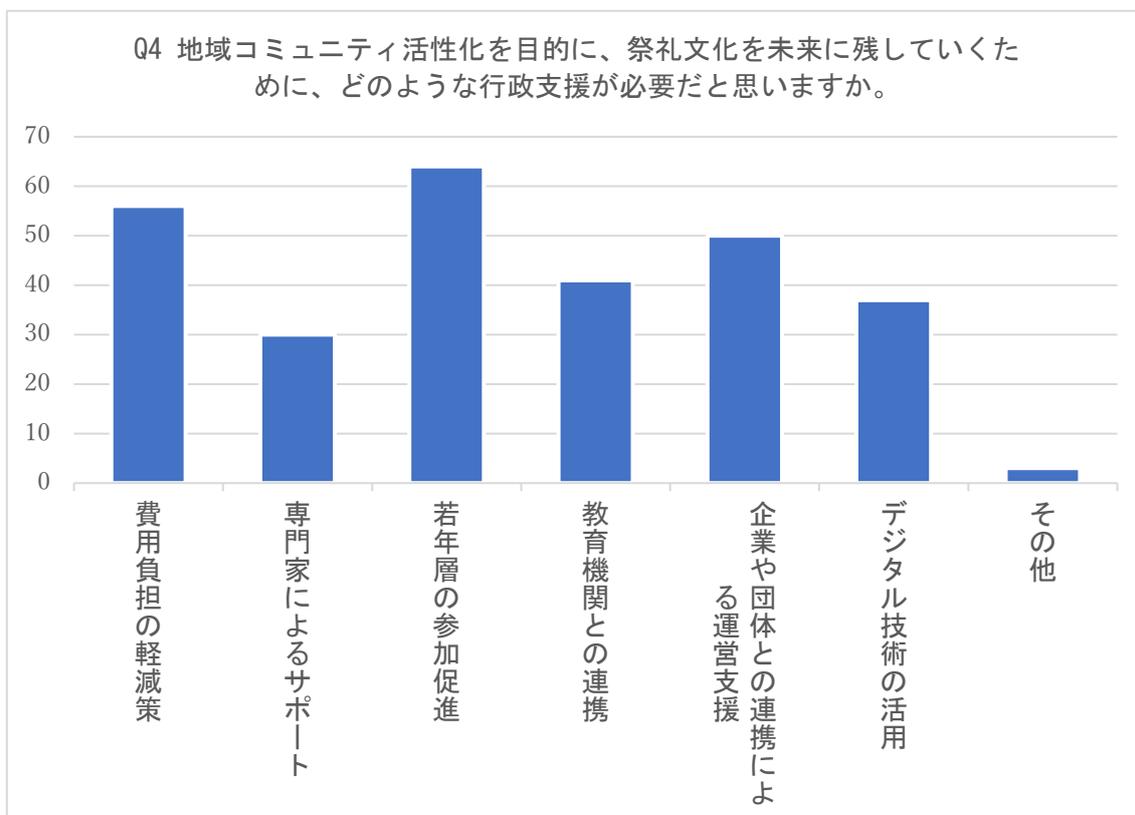
Q4. 祭礼文化の継承には資金や人手不足などの様々な課題があります。例えば、お神輿の修繕、半纏などの備品購入・維持にかかる費用など、地域団体が実際に必要とする負担が年々増加しています。

また、祭りの運営には、交通整理や安全管理、会場設営、関係機関との事前協議・連携など、さまざまな作業を担う人手が必要です。しかし、担い手の高齢化や若年層の参加減少により、十分な人手を確保することが難しくなっています。

Q4 地域コミュニティ活性化を目的に、祭礼文化を未来に残していくために、どのような行政支援が必要だと思いますか。

<<複数回答可>>

項目	回答数
費用負担の軽減策	56
専門家によるサポート	30
若年層の参加促進	64
教育機関との連携	41
企業や団体との連携による運営支援	50
デジタル技術の活用	37
その他	3



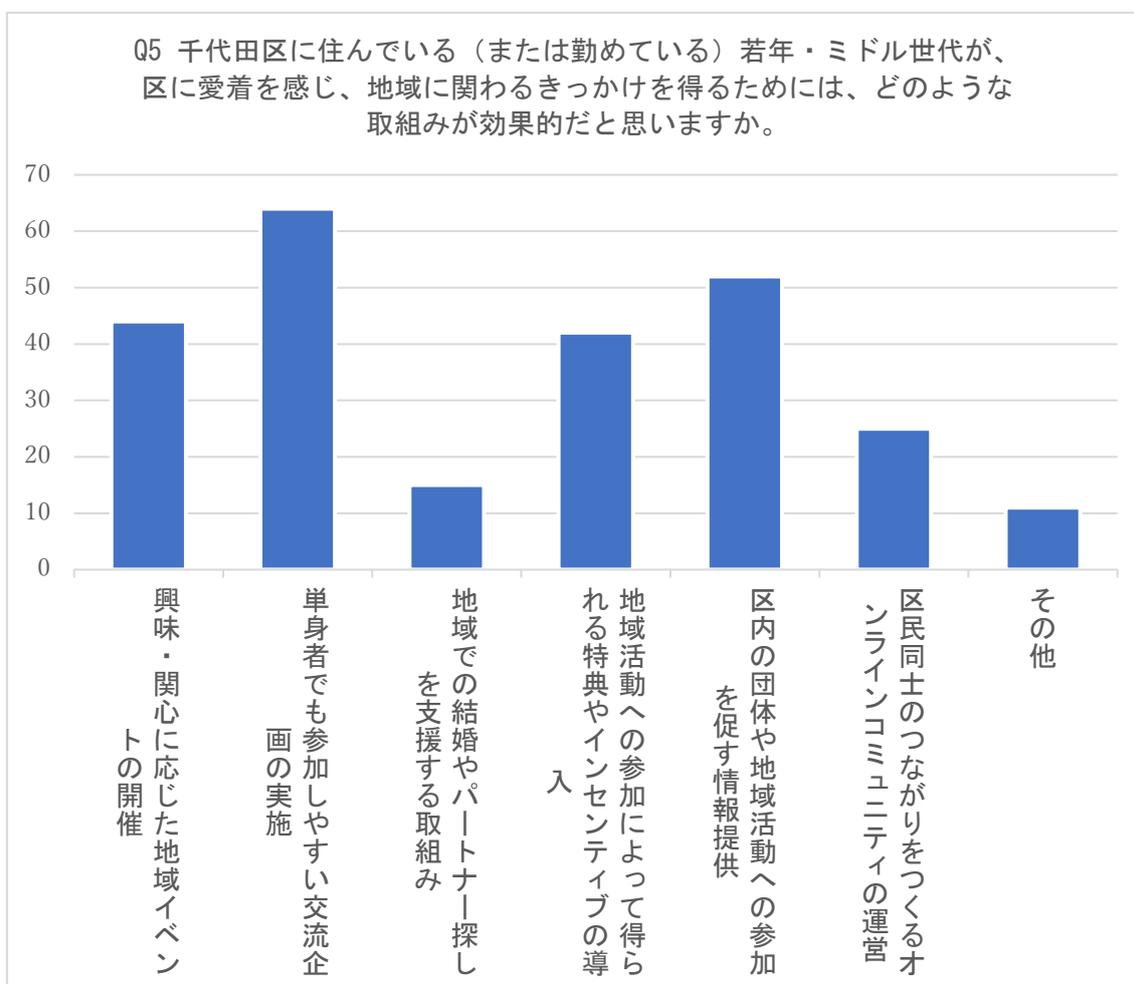
【その他の回答】

- 地域住民から特別税のように徴収する方法も検討してもよいと思います。
- 外部から参加を募るとか、マネタイズの方法(例:有料観覧席を設けるなど)を検討するなど
- コストの見直し(BS、コストとなる人員の精査、運用面の費用の可視化)、参加者の個々の SNS によるマーケティング活動の推進、重機械を除く消耗品のブランドの精査

Q5 千代田区に住んでいる(または勤めている)若年・ミドル世代が、区に愛着を感じ、地域に関わるきっかけを得るためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。

<<複数回答可>>

項目	回答数
興味・関心に応じた地域イベントの開催	44
単身者でも参加しやすい交流企画の実施	64
地域での結婚やパートナー探しを支援する取組み	15
地域活動への参加によって得られる特典やインセンティブの導入	42
区内の団体や地域活動への参加を促す情報提供	52
区民同士のつながりをつくるオンラインコミュニティの運営	25
その他	11



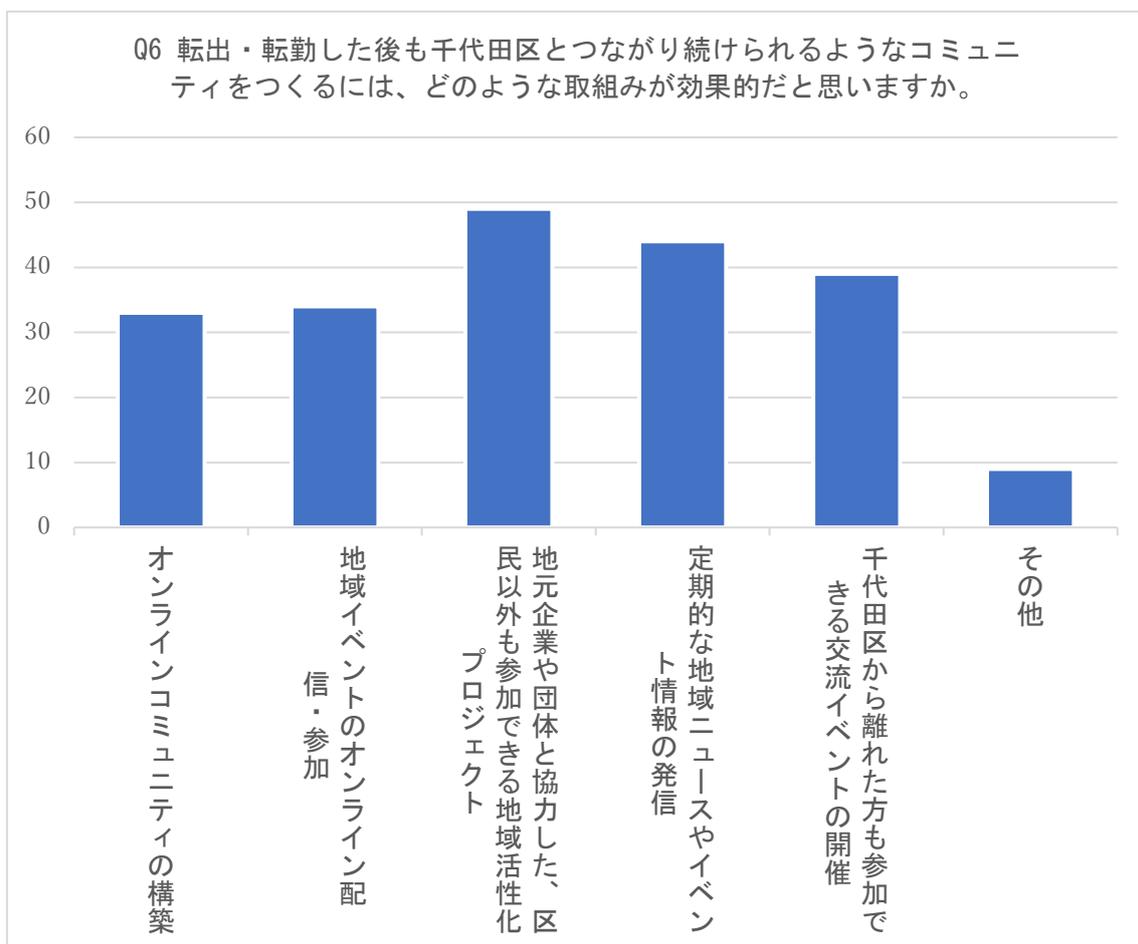
【その他の回答】

- 住宅費の補助
- ファミリー層向けのお手頃な賃貸(ママ友同士で良く話しています)
- 町会・団体という括りでなく、単発でも参加しやすいよう間口を広くする。
- 学校や幼稚園、保育園から子供へ働きかけ、親世代が子供と一緒に参加するよう促す。親同士の交流が出来る、「次回も参加しましょう」となるのでは。
- 区民にもっと知らせるように工夫された方が良いと思います。子供は千代田区民で千代田区内に勤務しておりますが、残念ながらあまりイベントや行事に関心を持っていないようです。
- 5年以内に転出する人をターゲットに地域への関わりを促す工夫をするよりも、長く住んでもらえるファミリー層が増えるような街づくりを進める方が、よほど有益だと感じる
- 千代田区に拠点を置く事業会社から所属社員への直接の参加者呼びかけ(まずは地域事業会社への説明し賛同を得るための活動から必要)
- 千代田区には歴史と上質な住環境があり、住むこと自体に大きな価値があります。そこに暮らす人は、その土地への誇りと愛着を自然に持つことができ、それが地域に住み続ける理由となります。こうした魅力を丁寧に伝えることで、千代田区の住民が安心して、長く住み続けられる環境づくりにつながります。
- 区外に転出する人への支援や施策が必要な理由が少し腑に落ちない。在住、在勤の方々に向けたものを充実させるのが一番と感じる。歴史や文化や継承の観点でということであれば、まずは区内在住、在勤の歴史文化を知らないターゲットに向けアプローチをしても良いのではないか。
- イベントの企画と千代田区への定着の関係は無いと思います。千代田区へ住む理由は職住接近のメリットが大きい。
- 都のパートナーマッチングに応募したが、年齢を理由に断られたことがある。このようなイベントは(マッチングに限らず)若者やファミリー向けが大半であり、単身は参加しづらいものが多いので、こうした層も排除しないような設計を期待する。単身者が地域的なつながりを持つことを促進することで、長期的にみて孤独死などを避ける方向につながると思う。

Q6 転出・転勤した後も千代田区とつながり続けられるようなコミュニティをつくるには、どのような取組みが効果的だと思いますか。

<<複数回答可>>

項目	回答数
オンラインコミュニティの構築	33
地域イベントのオンライン配信・参加	34
地元企業や団体と協力した、区民以外も参加できる地域活性化プロジェクト	49
定期的な地域ニュースやイベント情報の発信	44
千代田区から離れた方も参加できる交流イベントの開催	39
その他	9

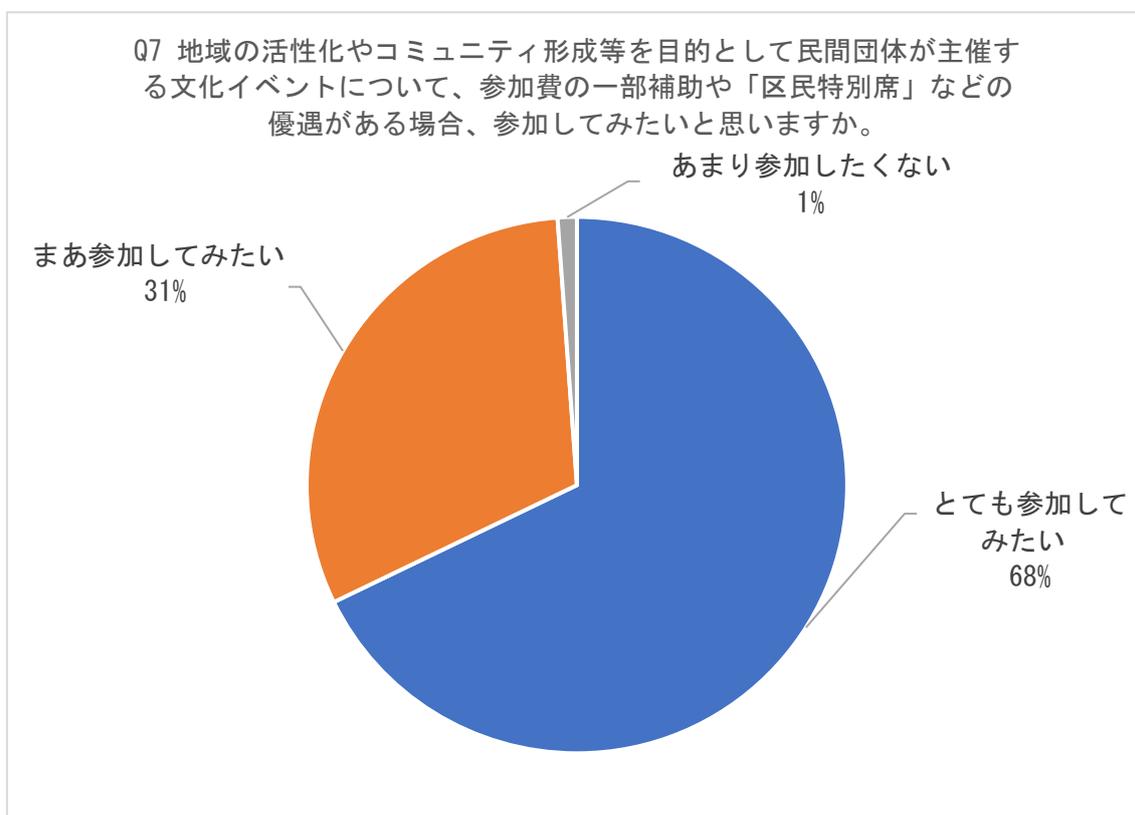


【その他の回答】

- 区民限定のイベントの企画、交流イベントを考えて頂きたいと思います。
- ふるさと会員。転出した人も町会費を払えば町会に所属出来るようにする。
- 住宅情報の配信
- 行政サービスの徹底した電子化および電子区民制度の創設。まずは実際に居住・勤務した人を対象に、転出後もバーチャルに区民・区内勤務者であり続けられるようにする。
- ちよカレOB会は在勤、在学が解消されても在住区民により運営されており、参加を妨げていない。行政はイベントを開催する事には積極的であるが、その後に足しては何らアクションを起こしていない。共通の体験をしたのであるから、慰労会反省会など行い、次回、将来に備えるグループ作りまでを、計画段階で盛り込んで如何か。
- 千代田区とつながりを続ける意欲を持っている人が能動的に転出をすることもないと考えているため、掲題の件でどのような取り組み効果的かは全く想像がつかない
- 千代田区外に転出したあとは必要性を感じない。関わりが深ければ既に繋がりはできている。
- 千代田区から離れた方を巻き込む意図についてあまり腑に落ちていない。否定的なことはないが、まずは人が集まりやすい雰囲気作りをする方が良いのでは。
- 千代田区外に転出した人も参加できる場は価値がありますが、区内の静かで上質な住環境を乱さない形で運営することが大切です。コミュニティやイベントはあくまで補助的な役割とし、千代田区が持つ落ち着いた居住環境を維持することを最優先とすべきです。

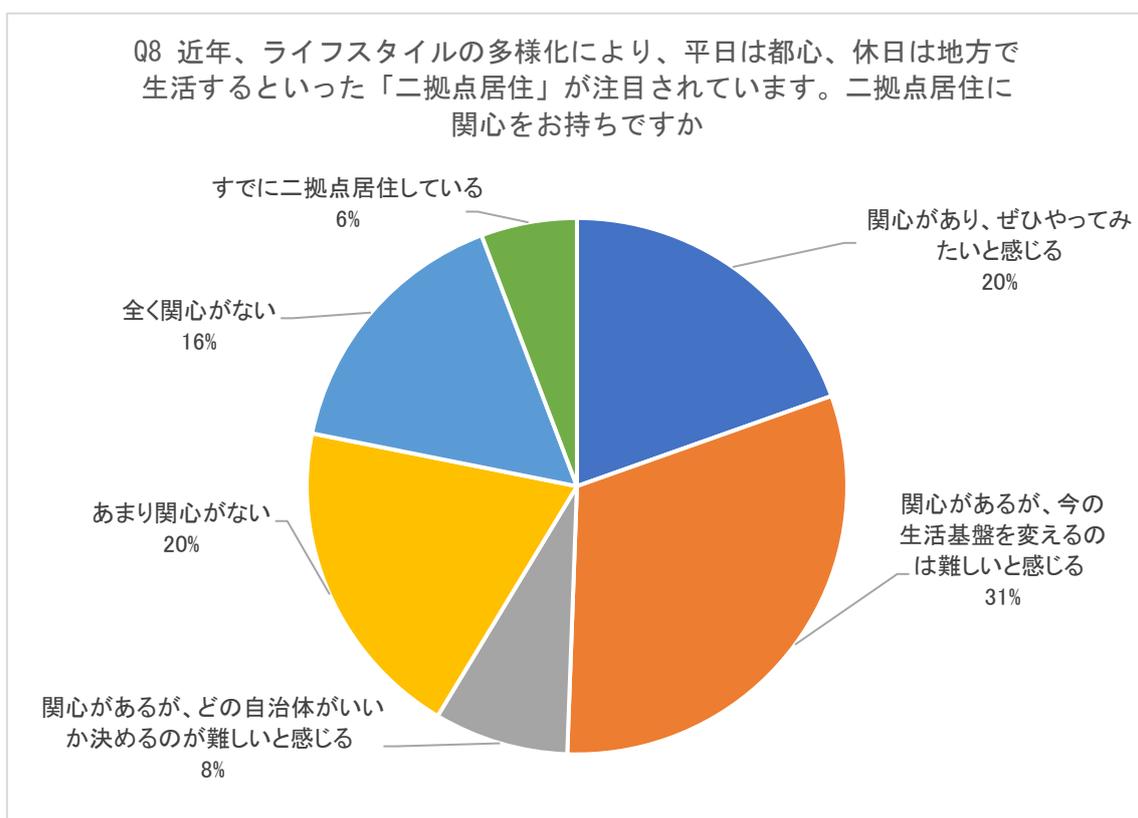
Q7 地域の活性化やコミュニティ形成等を目的として民間団体が主催する文化イベント(例:映画鑑賞会・音楽ライブ)について、参加費の一部補助や「区民特別席」などの優遇がある場合、参加してみたいと思いますか。

項目	回答数	割合
とても参加してみたい	59	68%
まあ参加してみたい	27	31%
あまり参加したくない	1	1%
全く参加したくない	0	0%



Q8 近年、ライフスタイルの多様化により、平日は都心、休日は地方で生活するといった「二拠点居住」が注目されています。二拠点居住に関心をお持ちですか。

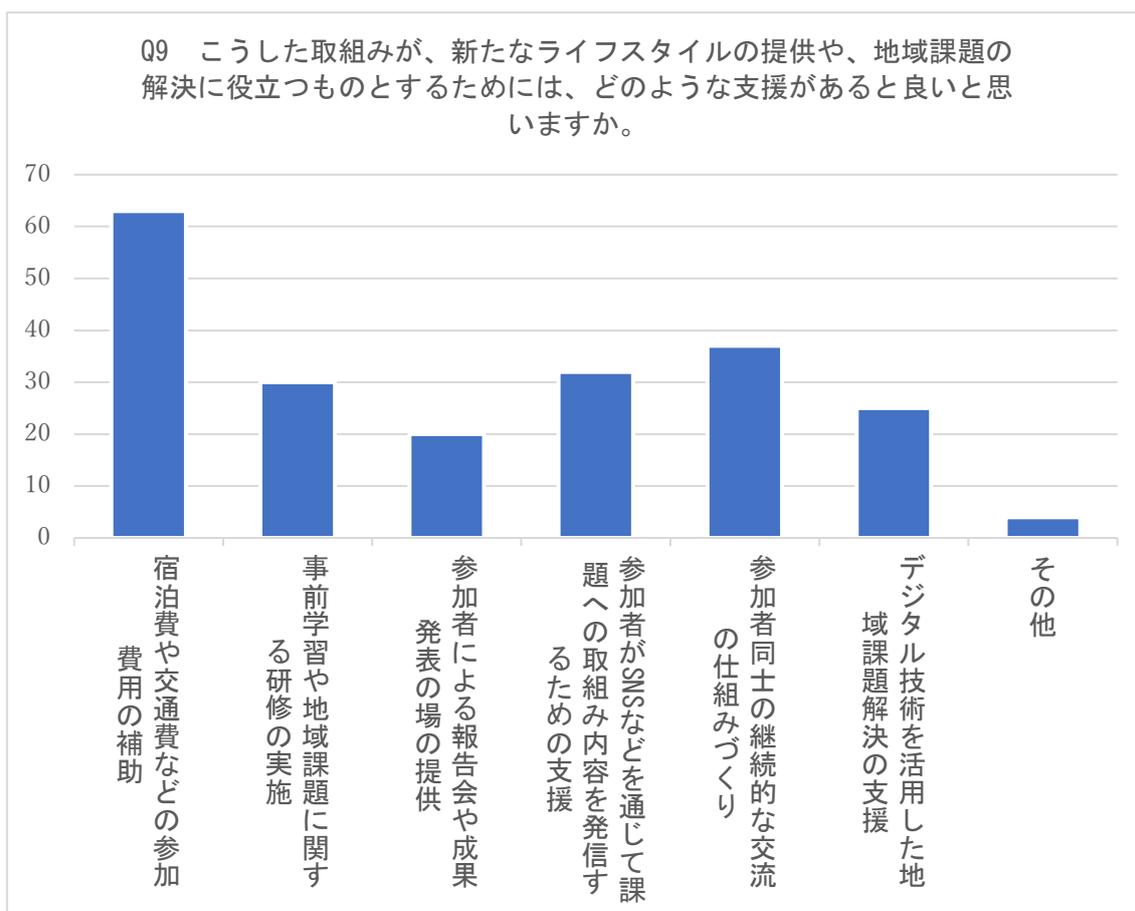
項目	回答数	割合
関心があり、ぜひやってみたいと感じる	17	20%
関心があるが、今の生活基盤を変えるのは難しいと感じる	27	31%
関心があるが、どの自治体がいいか決めるのが難しいと感じる	7	8%
あまり関心がない	17	20%
全く関心がない	14	16%
すでに二拠点居住している	5	6%



Q9 千代田区では、区と連携する地方自治体へ区民が実際に訪れることを通じて、二拠点居住の後押しや、双方の自治体が抱える地域課題の解決につなげる取組みを検討しています。こうした取組みが、新たなライフスタイルの提供や、地域課題の解決に役立つものとするためには、どのような支援があると良いと思いますか。

<<複数回答可>>

項目	回答数
宿泊費や交通費などの参加費用の補助	63
事前学習や地域課題に関する研修の実施	30
参加者による報告会や成果発表の場の提供	20
参加者が SNS などを通じて課題への取組み内容を発信するための支援	32
参加者同士の継続的な交流の仕組みづくり	37
デジタル技術を活用した地域課題解決の支援	25
その他	4



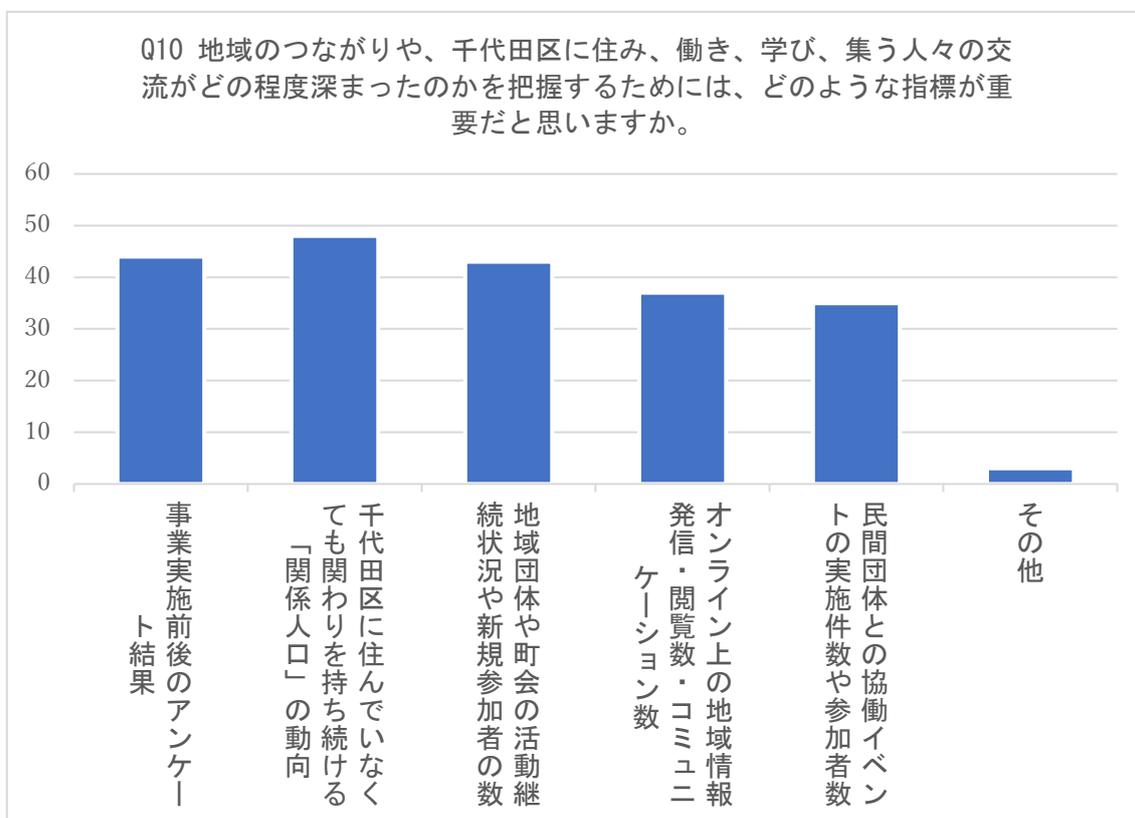
【その他の回答】

- 移住がきまった際の家賃補助ならびに移住先での受け入れ支援。最も大きな課題は、2拠点をもつことのコスト、移住先との人間関係と思う。よって別荘的なソリューション・サービスのほうが望ましい。
- 家賃などの問題で千代田区居住を諦めた方向けの施策には賛成するが、二拠点居住の人向け施策は不要と考える。
- 地域課題への貢献を補助の条件下として所謂タダ乗りを許さない仕組みづくり。
- 二拠点居住支援のメリットがあまり理解できない。

Q10 地域のつながりや、千代田区に住み、働き、学び、集う人々の交流がどの程度深まったのかを把握するためには、どのような指標が重要だと思いますか。

<<複数回答可>>

項目	回答数
事業実施前後のアンケート結果	44
千代田区に住んでいなくても関わりを持ち続ける「関係人口」の動向	48
地域団体や町会の活動継続状況や新規参加者の数	43
オンライン上の地域情報発信・閲覧数・コミュニケーション数	37
民間団体との協働イベントの実施件数や参加者数	35
その他	3



【その他の回答】

- デジタル活用により、イベント前後の人流の把握
- 地域住民からの満足度
- 複数参加(リピーター)の回数

Q11 最後の質問です。これまでの設問では、千代田区における新たなコミュニティづくりに関する取り組みや、参加の意向、具体的なアイデアについてお伺いしました。それを踏まえ、千代田区のコミュニティづくりの今後の方向性について、あなたが考えるアイデアを自由にご記入ください。また、これまでの回答内容について補足したい点があれば、あわせてご記入ください。(※最大 200 字程度を目安にご記入ください)

<自由記載>

- マンション世帯が増えているため、各マンション同士のつながりや戸建て住人とのつながりを促進するような仕組みを作ったらどうか。
- 地域活動(町内会)の高齢化が進んでいる。良い面もあるが、高齢過ぎて活動に、参加しにくい状況もある。町会をサポートするのではなく、企業や有識者に参加いただき、地域全体をサポートすること取り組みを行い、その活動と町会が連携できれば良いと思う。何のために町会が存在するのか明確にし、町会の負担を軽減できればよいと考える。実際、お祭りなどは複数町会連携することも多いし、大祭は氏神を中心に取りまとめる団体があるので、区や地区レベルで行う活動にしても良いと思う。例えば町会の旅行を千代田区全体で年 4 回企画し、町会員は 1 つ選んで参加するなど。
- 補助金、助成金などで安易に公金を投入するのではなく、区内の公立小中学校や大学など教育機関との連携をさらに強化することが政策の持続可能性を高めると思います。
- ワテラススチューデントハウスの取り組みはいいアイデアだと思いました。千代田区は家賃が高くなかなか住めない人に地域活動を担いながら住めば、またその学生時代の経験は横のつながり含め町の財産になると思います。
- 九段2丁目町会では、毎年、夏祭り、神輿、餅つき等を企画し、町会を超えた参加者を得ているが、物品調達等、担当者の負担もあると聞くので、区からの十分な支援金によりより活性化を図れるようにした方が良い。また、大学等の地域連携と地元町会がタイアップできるよう区のコーディネーションがあれば良いと考える。
- 興味はありますがコミュニティ・団体となると定期的な協力・参加する時間の確保が難しいです。不定期で参加できるような運営で、少しの時間で立ち寄って、できる範囲で協力ができる形だと継続しやすいです。例えば図書館の一角にフリースペースを設け、募集事項を貼っておく。募集事項に協力したい場合は Web アンケートで回答して、リモートで協力可能な体制を構築できると発言もしやすく、協力しやすい環境となると思います。
- シニア層と小中高生が関われるイベントがあると良いのではと思う。学校としての取り組みであれば保護者も安心できるのではないか。

- 私は番町エリア在住なので、その方面の事しかわからないのですが、図書館が小さくなってしまった事がとても残念に思っています。どうしても図書館では静かにしないといけないイメージがあるのですが、親のコミュニティの場と考えたら、子どもが自由に本を読んでいる間、親はカフェでくつろぎながらお話しができるような、そんな空間があったら素敵だな…と思いました。移動図書館とかで、それが実現できれば年齢問わず色々な人の新たなコミュニティの場になればよいなと思いました。
- 地域の持続性を高めるため、ファミリー層が主体的に参加できるコミュニティ形成が重要だと考えます。子どもを介した交流イベントや保護者同士が悩みを共有できる場に加え、既存住民と交流出来るような仕組みを整えることで、世代を超えたつながりが生まれ、居住満足度の向上と長期定住につながる関係性を築けると感じます。
- 現在子育てをしているが、子育て世代が地域と連携して生活し、この街でよかったと思える施策があると良いと思う。保健所で実施されているニコニコ広場はとても良い出会いもありよかった。情報交換やいろんな話が聞ける機会、場所などを欲しい。ちよままはイマイチよくわからないので、もっと別の形で千代田区の子育て世代を支えるコミュニティを作りたい。
- 育児や仕事に忙しい世代はどうしても新たなコミュニティづくりの場への参加は優先順位が後回しになってしまうように思う。平日の夜、土日に簡単に参加できるイベントを増やし、まずは発信することで知ってもらおう。そして都合が合えば参加できるくらいのスタンスで申し込みができるものがないと思う。立場やライフステージが異なる人が交流できる場があるとより良いと思う。
- 平日の夜に誰でも参加できるようなイベント。
- 区のイベントに参加しても、知り合いがいるわけでも、知り合いを作りたいわけでもないで地域の繋がりを感じることはほとんど無い。地域対抗のイベントがあれば地域性や交流も持てて面白いかもしれない。一方でカレーグランプリや神田祭など、地域を盛り上げるイベントは十分にあると感じている。
- 住民の方、町内会を中心として、地域に勤務や通学する地域外に在住の方も含めた形で、お祭りや地域イベントを開催していくことで、広がりのあるコミュニティが形成されると良いのではないのでしょうか？
- 平日夜、神田～神保町エリアの“行きつけの飲食店”共有、皇居外周ランの固定メンバー、清掃＋コーヒー等を軸に、仕事帰りに 30～60 分で参加できる小さな地縁を育てる取り組み。町会より軽く、定期開催で継続と緩やかなつながりをつくるプラン。
- 結婚などの既存の制度・枠組みに根差したコミュニティ作りよりは、単純に人が集まるコミュニティとした方が若年層の参加率は上がるように思われます。
- 千代田区には多数の大学が点在しているため、大学図書館などの施設を区民

も利用できるようにしてほしいです。地域資源を共有することで、学びの機会が広がり、地域全体の活性化にもつながるのではないのでしょうか。

- 千代田区のコミュニティづくりは、古書店街や丸の内の美術館、歴史的建造物などの文化資産を活かし、住む人・働く人・学生を包摂する「開かれたつながり」を育てることが重要である。「町会中心」から「関心ベースのゆるやかな参加」へ広げ、デジタル発信と対面交流で参加の壁を下げる。具体的には、古書店や美術館と連携した限定割引や特別鑑賞会など“参加者だけのお得な体験”を用意し、新住民や若者が思わず関わりたくなる仕掛けをつくる。3月には新たに三省堂書店もオープンし、イベントスペースも有するというので、そうした新規性のある施設を人の呼び込みに使うことも検討する。
- 町会での活動など、参加したいけど知らない。といった状況のため、参加出来ない、あるいは知った時にはすでに出来上がっていて参加しづらい。ということがある為、なにかイベントがあるときは事前に参加者を呼びかけたりする、その為にはもっと SNS や掲示板を活用して頂けたら嬉しいです。
- 町会単位でイベントの情報発信がされているが、まだまだ全町会員に情報が伝わっていないゆえに町会活動に参加したくてもできないことがあると思う。新たに千代田区に転入した場合、区と町会が連携して、区から転入者に対し、所属となる町会の案内を配布するなどがあっていいと思う。転出後も関わっていいなら、転出時にお知らせしたり、その旨を広報などで発信するとともに、町会費に代わるお金を区が助成したり、区が町会に代わって関係人から関係費（寄付金）を徴収するなどしてイベント開催費用に回せるようにしたらいい。
- すでに有名な神田祭・山王祭、カレーグランプリ、東京映画祭等既存のイベントへの参加者をより増やすような PR 活動を SNS 等で呼びかけ、開催する。高齢者に対する福祉活動を手厚くし「歳を取っても住みたい街」であることをアピールする。
- コミュニティに興味を持ってもらえなければ、どれだけ施策を重ねても効果が出にくいと感じています。まずは「どう注目してもらうか」を整理することが重要ではないのでしょうか。そのためにも、現状の参加者がどの導線でイベントを知ったのかを、より具体的に調査してみるのはいかがでしょうかと思いました。私個人としては、掲示板やチラシなどの従来の手法では認知拡大にどうしても限界があると考えています。また、SNS 発信もフォロワー中心になるため、到達範囲が限定されやすい課題があると感じます。もし可能であれば、たとえば「お祭りの 1 週間前から提灯や垂れ幕で街の雰囲気をつくる」「3 日前からカウントダウンを行う」など、イベントそのものが街の中で“目に入る状態”を作るのはいかがでしょうか。映画祭がある場合も、駅や公園に関連オブジェを設置して認知を広げることが最も効果的なアプローチになると考えています。また、二拠点生活（※文字数超過）
- 設問にあったような、コミュニティづくりに関する区の考え（課題感）や具体的な

取組みなどを、多くの人に伝える工夫が必要だと思います。

- 「千代田区インフルエンサー」的な人を募集し、魅力的なスポットや何気ない町並みを写真や動画に撮影して SNS で発信して、転出後にも継続的なつながりを持てるようにする。・千代田区とどこかと 2 拠点生活をしている人の生活を紹介し、そういう生き方や人々とのつながりを持つのもありだと思えるような企画 (SNS、広報ちよだなど) を作る。
- 礼祭に関しては、以前自治会のアンケートの回でも多く意見が寄せられていたように、運営が不透明で少々排他的な面が一番懸念されていると思います。千代田区住民は、そういったことを含め地域活動への参加の意欲が低いわけではなく、実態がわからなかったり情報が手に入りにくいといった面がネックになっているように思います。まずは今の千代田区ポータルサイトにオンライン上での情報発信・交流を促す基盤のサービスを作ること、イベントを実施し、ポイント付与などインセンティブをつけながら活性化を図る、これらが見える化することも一案ではないかと思いました。
- まずは、どのような企画も、広く認知してもらえらる告知方法が重要ではありますが、様々なコミュニティへの参加のハードルが低いことで最重要です。他人に関心を持たない人が多い 20~40 代の若年・ミドル層、単身世帯でも、まずは、参加してみようかなと思える企画があればと思います。千代田区民ではない、千代田区での勤労者には、別の告知方法が必要だとも思います。私は、千代田区民ではないですが、モニターをさせていただく前は、千代田区のイベントや、コミュニティを知る機会は何もなかったと思います。よろしくお願いします。
- 現在行われている様々なイベントに対する参加方法の告知が全くない。区民体育大会では、町会員以外でも参加できるように工夫がなされていたが、実際どの誰に参加を申し込めばいいか？競技にはどう参加するのか。町会未加入の方々に向けた SNS など使った広報活動が必要。神田大和町会では、神田祭の参加方法説明会をほほえみプラザ住民(非町会員)向けに実施し、新規参加 10 名、町会加入 2 名を獲得した。見学したかったけど、誰に聞けばいいか、お金はかかるのかなど、非町会員も悩んでいた事が分かった。最初のとっかかりが大事。
- ミドル層の地域コミュニティの参加は、情報がないと参加が難しいのでイベントがあるときはもっとイベントの内容や来てほしいという気持ちをしっかり伝えて参加を促すような宣伝をしないと単身者の方達には届かないんじゃないかなと思う。
- 場所柄、単身者や外国の方が多く、周知方法も難しいと思いますが、特典があるイベント(バザーなど含む)の集客率は高いと思いますので、ご検討いただくと幸いです。
- 若年層かつ単身世帯へのアプローチ方法が最大の課題かと思っています。最初の一回に踏み出せる人を増やすために、参加特典(区内の施設、飲食店で使える

クーポン等)の拡充が有効と考えます。

- 1、山王祭や靖国神社の行事などを見ると、私もボランティアで参加したいと思います。参加する方法などをどのように調べれば良いのかも知らないなので、区民だよりも大きくわかるように明記して頂けると助かります。勿論都合もあるので、1日だけ参加などが出来ると尚良いです。2、日本のアニメコンテンツなどは世界的に評価されていますが、出版社も千代田区には多くあるので、協力してもらいイベント企画を開催するのは如何でしょうか。
- 千代田区の人口の流動性、若年層が多いという点を踏まえ、それを利点として、SNSを活用し、都心の魅力と伝統的なお祭りや昔ながらのお店の魅力を発信し、住んでいた人もまた遊びに来たくなる情報を伝えるのが良いと思います。
- SNSの活用は必須なのではないかと思う。誰もが気軽にみることが出来るし、アカウントを作成する上での費用もかからない為。私は神保町に住んでいたが、古本祭は重要な文化だと感じていたので、是非続けて欲しい。またより盛り上げる為にも補助金を出すなどして、屋台やイートインスペースを増やすなどして欲しい。
- 在住している時に強いつながりが作られないと、転出してからも関係を持ち続けようとは思わないので、まずは千代田区に長く住んでもらう住宅の補助や若い世代でも町会イベントに顔を出しやすいイベント情報の宣伝などを積極的に行い、区民との強いつながりを作り続けていく事が必要だと思います。
- ※推測です。千代田区は他の区と比べても、世帯年収が高い上にマンション世帯が多く、地域の取り組みを知りながらも区の活動よりも個々の生活を重視している世帯が比較的多いと推定。一方、日本一のビジネス街を持ちながらも個々の企業とのリレーションシップが少ない故に、千代田区の活動を知らない事業会社の従業員は圧倒的に多いと考えている。そのため、まずは千代田区が何を、どういうビジョンを持っていて、具体的に何に困っていてどのように協力してほしいか事業会社の広報等やボランティア部門へ説明する機会を持ち、千代田区をより知ってもらう活動をすることで、より母数を増やし、千代田区の更なる発展へ繋げていけるのではと考えている。
- 神田祭でなにか役立つことができたり、地元の人で知り合いが増えるといいなと思って、淡路二丁目町会に今年入りました。定期総会？に参加しましたが、ご高齢な方ばかり、参加者はおそらくいつも同じなのだろうなという印象を受けました。そこの方々もとくに新しい人を求めているような感じで…。メールとかグループLINEで町内会の活動や募集をやってくださると、地域の交流がもっと増えそうな気がします。千代田区だと分母が大きい感じがするので、まずは町内会から変わっていくと嬉しいなと思います。
- 町会活動の参加が少なく、町会自体の身内ので入りにくいイメージがあるので、誰でも気軽に参加できるような仕組みができればと思っています。

- 神田祭は参加したものの、町会の関係者、新興住民、外部から当日来た担ぎ手の三者が存在し、それぞれ隔たりを感じた。私は新興住民にあたりマンション住まいだが、お祭りに入って楽しみたいと思っている。しかし、担ぎ手の方の雰囲気（お酒、タバコ、タトゥー等）こともありなかなかお神輿には近づけない。町会も内輪感があるように感じて、入っていくのに抵抗がある。お祭りの楽しみ方が良くわからなかった。
- まず、町会長の若年化をする事や、地元、新住民の区分けをなくす事を検討してもらいたい。10年以上住んでいても、マンションの人、とすでに区外に引っ越して、お店などご商売で千代田区にいる元地元の方が、幅をきかせて、新住民を蔑ろにし、補助金で飲み会して、文句を言いながら新住民をこき使う構図を変えた方がいい。でないと一回二回イベントに参加しても途中で辞めてしまう。多分こういうしがらみが嫌で、地元の方のお子さん世代はイベントの参加率が低いのだと思う。
- 神田祭や山王祭のような行事はいつまでも続けて欲しい。町内会があるが、高齢化が進んでいるので、住民・企業含め若手が積極的に参加できるようなアイデアが必要だと思います。私の所属する町内会は高齢の方々が幹部を担っているが、そろそろ世代交代して、新しい風、若いアイデアをいれるべきと思います。
- 千代田区では、地域交流を名目に再開発を後押しする偏ったイベントが見られます。参加者の声だけを根拠に住環境の変化を正当化する方法は適切ではなく、静かで上質な住環境を守る立場から、公平性と慎重な判断が求められます。千代田区には、地域交流の名に騙されることなく、またそういった偏ったアンケート結果を鵜呑みにしない冷静な対応を望みます。
- 年配の人は千代田区で生まれ育った人しか信用しない人が多い。そういう人達が引退しない限り、発展は難しい。千代田区は都会でありながら、村社会なので、とても閉鎖的な町会が多い。
- 未就園児の親のコミュニティを作り、不審者情報やイベント情報をプッシュ型で通知できると、参加継続率が上がると考えます。また、転入時に千代田区 LINE を説明し登録を促すことで捕捉→情報発信→参加と繋げられるかなと思います。
- やはりデジタルを活用したつながりを構築・維持していくことが重要と考えます。あとは、僕は子育て世帯でありますので、子供たちが優遇される内容のイベントがあると有り難いです。短期間に転出してしまうことに関しては子供の成長や地価の高騰などもありしょうがない点もあると思います。まずは在住している間に地域に関わりを持ってもらうよう働きかける事からと考えます。
- 地域活動＝積極的に参加しなくてはならない、奉仕する、濃い関係を築くという固定イメージを変える方が大事だと感じます。「地域に関わることを“負担”でなく

“なにか普段の行為の延長”になる」という状態さえ作れば、転出しても自然に関係人口になっていくと思います。見るだけでも OK、気が向いたときふらっと参加できる、などです。イベントのライブ配信、アーカイブ視聴、レポート記事、リアル参加は小さな結果(スタンプ、シールなど)があると、また来ようと思うのではないのでしょうか。先日、千代田区での選挙で竹久夢二のしおりをいただきました。ああいったものは、参加を促す案外良いアイデアなのではと思います。

- 日本の文化を反映したお祭りについて、クラウドファンディングなどを用いて維持・振興を図っていく。
- 映画鑑賞会に当選し、夫婦で参加いたしました。様々な年齢の方が集まり、楽しいなと思いました。千代田区が好きで、住み続けたいと思っておりますので、住居購入や子育て、教育関連などの情報をオンラインなどで開催して下さったりすると、千代田区に住み続けたい人が増えるのかなと思います。
- オンラインコミュニティの構築をしてほしい。
- 働いている方が多いと思いますので、オンラインでも参加できるようなコミュニティづくりがあると良いと思います。
- 千代田区民のいいところは見栄をはらないところだと思うので、あくまでも厳かな活動を心掛けて欲しいです。一方で電子化はどの自治体よりも徹底して欲しいです。
- 子育て中の者の意見となりますが、子供が参加出来るイベントが大変多く、しかも無料であったり低価格であったりして、子供が楽しい経験を多く出来て、千代田区に住んで良かったと思います。ただ、神社のお祭りや町内会のお祭りは、昔から住んでらっしゃる方々とその家族と、転入してきてから子育てをしている家庭との隔たりを感じる場面もあります。子供が疎外感を持ったり、参加方法の情報がまいち分かりづらかったりすると、参加を控えようかなという気持ちになります。とはいえ、子供がいると比較的コミュニティに溶け込みやすいですが、マンションも沢山建て、新しい住人が増えますので、子供がいない方も含めてコミュニティに入りやすいきっかけづくりが大切かと思います。
- 地域イベントへの単身者の参加はハードルが高いため、マンションやアパートに住む家族へのアプローチがよいと考える。保育園や学校を通じて地域イベント参加を呼び掛けてはどうか？(学校は幅広い地域から通学しているので、特定の町会や団体へ肩入れはできないが、子どもが近所の友人と参加したいと言えば親も参加するのでは)
- 芸術系のイベントでは未就学児が参加不可のものも多く敷居が高いため、区のイベントとして子連れウェルカムなイベントを開催してくれたら嬉しい。
- 単身向けの世帯が多く、ファミリー層が住みにくい。また土日飲食店がやっていない場所が多く不便を感じる。地域によっては子ども会らしいものがないなど、子どもが地域と関わる場所が少ない。いつでも誰でも集まれる場所みたいなも

のがあると嬉しいです。

- 難しい事や専門的なことはわからず申し訳ありませんが、千代田区に居住している若い層の方々に地域参加をしてもらうには、子供たちにも楽しく参加できるイベントを増やすことがとても大事だと思います。子供たちが楽しめれば親世代も楽しめ、ファミリーで長く千代田区で過ごしていきたいと思い、子供たちも自分の故郷として長く住み、大人になり離れたとしても繋がりを続けたいと思います。私が子供の頃(目黒区)、地域のお祭りの際は沢山のお菓子が入った袋が配られ(町会費だと思いますが)、子供神輿をかついだ思い出は忘れられません。千代田区には素晴らしい文化的な施設も多く、ぜひ子供たちに色々な体験ができるイベントを増やしてあげられるといいなと思います。今年参加したあいあいフェスタでは、子供たちが楽しそうに参加していてとても良かったです！
- 単身世帯が5年以内に千代田区外へ転出する方も多いと記載がありますが、その原因は何になりますでしょうか。「関係人口」の施策も良いですが、区外に転居せざるおえない状況を改善し、そのまま住み続けられ、子供と共に文化を継承していけるような持続可能な施策を望みます。単身世帯が結婚して所帯を持つと、まずファミリー向けの住居が少ないことに気が付きます。そして、地域の子育て世帯とつながるコミュニティもなく孤立していきます。単身世帯が結婚し、出産しても望めば千代田区に住み続けられるような環境の整備が必要なのではないでしょうか。
- 子育て世帯が楽しく参加できるイベントを開催していただけるととても嬉しいです。
- 子供がいるためイベントに色々参加してきましたが、初めてのコミュニティにいきなり参加するのは勇気がいります。初参加の方も入りやすい雰囲気やシステムがあるといいなと思います。
- 子どもをもつようになって初めて地域のイベントに参加するようになりました。それを通じて議員の方や町会の方とも顔見知りになり、情報交換でき、暮らしが変わりました。一方で独身時代を振り返ってみると、地域とのつながりに意義を感じるのは難しかったと思います。単身者や転入してきたばかりの方々をどのようにコミュニティにひっぱってくるのか、は大きな課題だと思いますがこれといって案はなく、少し強引にでもおいでおいでと言った感じでアピールできる方法があるといいなとは思っています。
- 若年層に興味を持ってもらうためには気軽に気楽に参加できることが大事だと思います。
- 区民としてイベントに関われるといいが単身で住んでいるため、子供のイベントや高齢者向けのイベントが多く、気軽に参加できるコミュニティはないと感じている。企業開催イベントなどの区民枠の参加のような色々なイベントで何かコミュニティに触れられるようなチャンスが増えると嬉しい(応募しても当たった事はない

ですが)。お祭りやイベントで例えば区民向けのチケット(ドリンク引き換えとか)でも配られれば、行こうかなという動機付けになるかなと思う。

- 内輪な雰囲気やアウェイな雰囲気を無くしてほしい。転居したばかりの身だと、神輿や清掃ボランティアなども参加しづらい。
- 伝統的な行事が好きなので、千代田区の数多くの企業とコラボすることで参加人数、広告費などのメリットもあるかと思います。また、無料のイベントでも数百円払うことでちょっとしたメリットがあると嬉しいです。
- 二拠点生活の支援などで区外に転出した人口をコミュニティへの参画につなげる考え方は良いと思うが、現況、区内に居住し続けるまたは新たに転入することへの経済的ハードルが高まっているなかで、区外住民を優遇する施策は区民からの納得を得られにくいと考える。長期的に居住・定着することを優先した施策展開を望む。例えば居住年数をベースに、地域イベントの運営側への参加、町内会への参加などをポイント化し、「数年後」に経済的に還元する仕組みなど。
- 一部の身内だけでなく、参加者全員が楽しめるよう、イベント進行はプロに任せられた方が良いと思う。
- そもそも関係人口を政策目標とする理由・根拠を教えてください。千代田区から転出した人は千代田区というコミュニティからは離れるが、転入地のコミュニティに所属することになるわけで、目的がよくわからない(その時点で千代田区のコミュニティに所属している人だけにフォーカスすればいいのでは?とってしまう)。あとは個人的には神田祭に思い入れがあり、もっと活用してもいいかなと思う(青森ねぶた祭りが跳人を外から募集しているように、神輿担ぎ手を募集するなど)。また、神田東松下町に所属しているが、神田祭の際、神田明神に神輿宮入りをさせてほしいと思う。
- 小学1年生の子供がいますが、子供にとっても住みやすく、環境・コミュニティも素晴らしく、とても素敵な地域と考えています。一方で住宅費を理由に長期的な滞在を断念せざるを得ない状況にもあります。狭くてもよいので経済的な住宅などが充実していると小学校、中学校と千代田区で生活する選択肢も出てくるのではないかと考えます。
- 千代田区へずっと住んでもらう取組としては2拠点移住支援というより、税金面の優遇等の方がより効果的だと思います。住民税や固定資産税。
- 安心安全なコミュニティづくり。防災・危機管理、治安の向上(犯罪の予防や治安維持のための施策、防犯カメラや街灯の設置など)、環境整備(街の清掃や緑地の整備、安全な歩道や自転車道の整備、安全な遊び場の整備)など。
- 千代田区に愛着がある区民を増やす為、各種施策を積極的に展開して欲しいです。
- 千代田区の在勤者も図書館イベント参加費を無料にしてほしい。
- 積極的に参加していきたいです。

- 難しい問題で、良いアイデアが思いつかないです。申し訳ございません。
- 特にご覧いません。